

青年部だより

地域を愛し貢献する意識と行動力 ～実践例から学ぶ「志し」の力！～

去る6月14日に商工会議所ホールにおいて研修事業を開催し、約30名の会員が参加しました。講師に、有限会社スワニー（富山県伊那市）の代表取締役社長である橋爪良博氏をお迎えし、同氏が中心となって進めておられる、完全地産を旗印にした「製造業ご当地お土産プロジェクト」についてご講演いただきました。

このプロジェクトは、地元の中小企業が集まり、企画から製造まですべてを手がけて新たな土産品を生み出そうという取り組みです。その第1弾として誕生したのが、平成24年に製造業コマ大戦茨城場所に参戦したコマを量産化したもので、回すと花開く「サクラコマ」です。

このプロジェクトを進めていかれるなかで、近くに金型工場があったことや今までの業務ではそれほど関心がなかった売り方の重要性に気付くなど新たな発見があったと言われます。そして、何よりも、完全地産はどこでもできるという力強い言葉をいただきました。この研修を通じて本年度の青年部会長方針である「志し」の共感と連鎖も生まれました。



「完全地産はどこでもできる」



完全伊那産のサクラコマを体験

平成25年9月7日(土)赤れんがパークにおいて、京都府商工会議所青年部連合会第17回会員大会舞鶴大会を開催します。
京都府内8商工会議所青年部員が一堂に会し、さまざまな研修をおこない、交流と連携を深めます。



女性会だより

フラダンスの鑑賞会と体験コーナー

== 6月定例会(6月18日開催)に20名が参加 ==

古代ハワイアンが文字を持たなかった頃から文字の代わりに踊りで伝えてきたのがフラで、手は手話のような意味を持つそうです。

華やかな衣装を身にまとい、リズムに乗ってフラダンスが始まり、一瞬南国の世界に引き込まれたかのように時を忘れてしまいました。テレビ等で見たフラと少し違って激しい動作があまりなく、上品に仕上がっていて少し違うフラを見たような気がしました。

体験コーナーでは、風景や感情等を表現した言葉を手話と動作でストレートに伝えられるので、情景等も理解しやすく出来ました。簡単そうに見えた動作も足の動きが伴うと難しくなり大変でしたが、皆さん一服もせず45分間一生懸命頑張りました。習いたいと言う人もあり嬉しかったです。

笑顔が印象的で心が和み、何気なく見て来たフラですが、何とも味わい深い踊りで見方も変わり、楽しさも倍になりました。このような華やぎを幾つになっても持ち続けたく思った一時でした。

例会委員長 倉木征子



踊り・指導
レファの皆さん